

名古屋大学大学院生命農学研究科生物圏資源学専攻

資源生産生態学講座（資源植物環境学研究分野）助教の公募について

1. 選考方針

資源生産生態学講座では、陸上生態系における植物資源の持つ広範な環境保全・創成機能を追究し、新たな遺伝資源の探索・利用とあわせて植物の持続的生産機能・環境調律機能を最大限に発揮させる理論・技術体系の確立をめざして研究教育を行っています。その中で資源植物環境学研究分野では、新たな資源植物の開発と利用をめざし、超微形態学・機能形態学・生理学・生化学・分子生物学的手法を用いて、草本性資源植物の構造と機能の多様性と環境適応に関する幅広い研究教育を行っています。

本次公募では、上記の研究領域において優れた業績をあげつつあり、電子顕微鏡を用いた超微形態学に関する知識と実践的技術を有する人を求める。また、大学院および学部の教育と研究指導に熱意と責任感、協調性をもってあたる人を望みます。

2. 選考方法

選考委員会で審議選考し、研究科教授会の議を経て、候補者が決定されます。なお、面接やセミナーをお願いすることがあります。交通費等は自己負担とします。

3. 資源生産生態学講座（資源植物環境学研究分野）の教員構成と授業科目

1) 教員構成

資源生産生態学講座は、作物科学研究分野、資源植物環境学研究分野、森林環境資源学研究分野、森林生態生理学研究分野の4研究分野からなり、教員構成は教授4名（内1名は現在欠員）、准教授4名（内1名は現在欠員）、助教4名（内2名は現在欠員、1名が本次公募）です。

2) 資源植物環境学研究分野の教員が担当している主な授業科目

大学院：生命農学本論Ⅰ（分担）、資源生産生態学基礎講義（分担）、資源生産生態学基盤実験（分担）、資源生産生態学特論Ⅱ、資源生産生態学演習Ⅱ、資源生産生態学輪講Ⅱ

学部：植物生理学1（分担）、植物生理学3（分担）、資源生物科学専門講義（モデル植物学）（分担）、構造機能解析法（分担）、資源生物科学実験実習（分担）、生命農学入門（分担）、専門セミナー、卒業論文など

4. 必要書類

- 1) 応募する旨明記した書類（応募者の電子メールアドレス、連絡先を含む）
- 2) 履歴書
- 3) 研究業績リスト
(原著論文、総説、著書、その他などに分類し、番号を付けてください)
- 4) 学会等発表リスト
- 5) 主要な原著論文などの別刷（5編以内、複写でも可）
- 6) 現在までの研究内容の要約
(1,500字程度、研究業績リストの番号を引用してください)
- 7) 今後の研究についての抱負（1,500字程度）
- 8) 大学における教育・研究指導のあり方および助教の役割に対する考え方（1,000字程度）
- 9) その他（教育・研究活動、研究費取得状況、受賞歴、学会関連活動、社会貢献などで選考の参考となる事項）
- 10) 応募者について問い合わせ可能な方2名の氏名と連絡先

※ 上記書類は、紙媒体1部と電子媒体（必要書類5以外をひとつのPDF形式のファイルにまとめ、CD-ROM等に保存）を送付してください。応募書類は、選考終了後に返却いたします。

5. 応募方法、その他

- 1) 書類は「応募書類在中」と朱書し、下記宛に書留便でお送りください。
〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学 大学院生命農学研究科 生物圏資源学専攻
資源生産生態学講座（資源植物環境学研究分野）助教選考委員会
委員長 谷口光隆
- 2) 応募期限は、平成26年6月9日（月）（必着）です。
- 3) 本公募に対する問合せは、本選考委員会委員長宛に電子メールでお願いします。
E-mail: taniguti@agr.nagoya-u.ac.jp
- 4) 応募締め切りの1週間後までに応募書類を受領した旨の連絡（電子メール）がない場合には、委員長までお問い合わせください。
- 5) 当研究科では、男女共同参画推進に積極的に取り組んでいます。名古屋大学の取り組みについては、下記HPをご覧ください。
(<http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/>)